

You, Unlimited

龍谷大学大学院
社会学研究科

Graduate School of

Sociology

2026



社会学研究科

Graduate school of Sociology

人間、地域を共生と協働で切り拓く研究

社会学研究科は、社会学専攻社会学コース・同専攻ジャーナリズムコースおよび社会福祉学専攻から構成され、各専門の総合的教育を通して、社会の要請に応えられる見識ある研究者・教育者・高度専門職業人の養成を目指しています。

開かれた教育研究機関として、留学生や社会人を含め多様な学生が、それぞれに適した形態の入試によって入学し、共に研究に励んでいます。学生の自由な発想と研究関心を生かし、実績ある教授陣が懇切丁寧な研究指導を行います。また、修士論文および博士論文の執筆過程における発表を通して、研究成果形成をサポートします。

学生一人一人が社会の現状に向き合うことを重視し、社会調査教育や社会福祉実践教育を推進しています。



高度専門職業人の養成

時代と環境の変化に伴って生じる新たな社会問題と向き合い、自ら公共的課題解決に挑んでいく人材の養成を目指しています。

社会人が学びやすいカリキュラムと多様な履修コース

5・6 講時(17 時以降)を中心に構成した昼夜開講制や土曜日開講など、社会人の方にも学びやすいカリキュラムを整え、セメスター制を導入しています。

国際化の推進と留学生へのサポート強化

多くの留学生が在籍しており、国際化に向けた歩みを着実に進めています。

教育理念・目的

多様な価値が錯綜する現代社会において、社会学と社会福祉学の分野が果たす役割は大きいと考えます。社会学研究科は建学の精神に基づき、専門性と実践性をバランス良く兼ね備えた高度専門職業人・研究者・教育者を養成します。

専 攻	修士課程	博士後期課程
社会学専攻	複雑で多様な現代社会の諸問題を分析できる社会的な学識と能力を有する専門社会調査士や職業ジャーナリストのような高度専門職業人及び研究者を育成することを目的とし、現実社会に対応した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成する。	高度で創造的研究を行うことのできる自立した研究者を育成することを目的とし、社会学の研究領域で価値ありと認められる研究成果を生み出す能力を有する人材を養成する。
社会福祉学専攻	現代社会における社会福祉学の専門性と実践性を兼ね備えた高度専門職業人及び研究者を育成することを目的とし、現実の社会福祉問題に直結した研究能力と幅広い実践能力をもつ人材を養成する。	社会福祉学の研究方法を身につけ、創造的で自立した研究者を育成することを目的とし、社会福祉問題の分析における高度の研究能力を有する人材を養成する。

研究科長のメッセージ

学問とは、問いを解けるために学ぶことでしょうか。

社会学研究科は設立されて以来、現代社会が抱える多様な課題を問いにし、真摯に向かい合ってきました。古典的な社会思想や社会学理論への理解から出発し、社会構造の変動に伴って起きた現実的な社会問題を答えようとして、その研究領域は社会福祉制度の構築、地域コミュニティの再生、ジェンダー平等、環境持続可能性などに拡充してきました。さらに、デジタル化と国際化の進展に従って、その関心はメディアと情報社会、移民・難民の社会統合、多文化の共生など多彩になってきました。

ここでは、学生のみなさんは自身の関心に基づき、多角的な視点から社会問題を探求すると同時に、フィールドワークや社会調査を通じて得られたデータを基に、現実社会に即した研究成果を生み出すことに努めています。また、アジア諸国から集ってきた多くの留学生や社会人学生とともに、グローバルとローカルの視点で課題に取り組み、国内外の研究者や実務家を招聘して開催される講演会やワークショップなどを通じて、最新の学術的知見や実践的なスキルを身につけようとしています。卒業生は、学界だけでなく、行政、NPO、企業など、さまざまな分野で活躍しています。

歴史と伝統のある社会学研究科で、社会の「いま」と未来を、みなさんとともに考えていきたいです。



社会学研究科長

李 复屏(り ふぴん) 教授

実践的で多様なカリキュラム

修士課程

社会学専攻

●社会学コース ●ジャーナリズムコース

研究を行うには、社会学理論についての理解、外国語文献を読んで理解する語学力、研究・調査法についての知識とスキル、自分の専攻したい分野についての最先端の研究の把握、論文作成の知識とスキルが必要です。修士課程では、これらの基礎的な知識、能力、スキルを身につけることにより、社会学の研究を独力でやり遂げる力を身につけます。

※ 大学院設置基準第14条特例に基づく昼夜間開講講義を実施し、社会人入試による学生の受け入れも行っています。

修了要件	1年次	2年次	修士論文
	演習〈必修〉	8単位	
	外国語〈必修〉	4単位	
	基礎科目〈選択必修〉	2単位	
	選択科目〈選択〉	16単位	

博士後期課程

社会学専攻

博士後期課程では、修士課程で修得した独力で研究をやり遂げる力を研究成果に結びつけていきます。自ら研究課題を設定して、研究・調査に取り組み、成果を学会発表や学術論文として発表することを繰り返して、社会学の研究者として活躍できる力量を身につけていきます。

社会福祉学専攻

複雑化している社会福祉分野に柔軟に対応できる人材を育成し、より専門的で高度な教育・研究を目指しています。社会福祉に対する関心や知識を一層深めることができるとともに、福祉現場などで活躍している人の再教育・スキルアップにも役立ちます。また、将来社会福祉の研究者・教育者を目指す人たちの研究の基礎づくりの支援を行っています。

社会福祉学専攻

博士後期課程では、修士課程での研究や成果を土台に、さらに専門的な研究を展開できるよう、博士号取得に向けての指導と支援を行い、社会福祉学の研究者の養成を目指しています。

社会学研究科 3つのトピックス

Topics

1

充実の研究補助

学会発表や論文作成に充実した補助を行う「大学院研究活動奨励・支援制度」を2024年度に新設。

＜学院研究活動奨励・支援制度＞

■学会活動支援

- ・発表を伴う国内学会参加：一律 30,000円の補助
- ・発表を伴う国外学会参加：一律100,000円の補助

■論文校正支援

- ・外国語による論文作成（留学生の場合は日本語）
校正：上限50,000円

■論文投稿支援

- ・学会やジャーナルへの論文投稿料：上限50,000円

その他多数。詳しくはQRコードをスキャンするか
本学HPをご覧ください。



＜充実した給付奨学金制度＞

大学院生が研究に専念できるよう、下記の給付奨学金を用意。

- ①成績優秀者給付奨学金
年額：194,000円 5名受給（2024年度実績）
- ②研究活動支援給付奨学金
年額：162,000円 8名受給（2024年度実績）
- ③外国人（留学生）特別奨学生（在学採用型）
年額：200,000円 4名受給（2024年度実績）
- ④外国人（留学生）特別奨学生（予約採用型）
年額：学費全額 2名受給（2024年度実績）

多くの方が返済の必要が無い奨学金を受けて研究を進めています。

Topics

2

留学生への手厚い支援

社会学研究科では多くの留学生が学んでいます。現在、26名の留学生が修士号・博士号の修得を目指して日々努力されています。

留学生ならではの研究テーマも多く、「東アジア三国の世論形成のメカニズムに関する研究」「上座部仏教社会における大乘仏教の慈善活動一タイの事例調査を通じて」「中国のソーシャルワークにおける高齢者終末期ケアの促進に関する研究一仏教死生観を中心として」など学会でも発表しています。

また、留学生が日本語で論文を作成するに必要なノウハウを学ぶ「学術日本語ライティング研究」科目を開設しているのもユニークなポイントです。

Topics

3

他大学・機関との包括協定と幅広い社会人受け入れ

社会人学生のリカレント教育機会の提供、研究・実習等のフィールド確保、キャリアパス確保などを目的とし、他大学・市町村や他機関との包括連携協定締結を推進しています。2024年度は新たに地域医療連携推進法人 湖南メディカル・コンソーシアムと包括連携協定を締結しました。包括協定先の社会人に対して修士課程推薦入試制度を導入し、社会人の方が学びやすい環境を整えています。

社会学専攻



「現場主義」にもとづき調査を主体に多角的な理論的検討をおこなうカリキュラムが特徴です。
社会学の研究を深めたい人だけでなく、専門社会調査士や職業ジャーナリストを目指す人にぴったりです。

専任教員紹介

2025年度 専任教員の 専門分野・主な研究テーマ

「M」は修士課程科目担当者、「D」は博士後期課程科目の担当者です

ともに学びましょう。

工藤 保則 **M D**
【博士(社会学)】

文化社会学／
子ども社会学



報道現場の課題を
いっしょに考えよう！

畑仲 哲雄 **M D**
【博士(社会情報学)】
マスメディア／
ジャーナリズム



他にはない社会学の
醍醐味を堪能しよう！

津島 昌弘 **M D**
【M.A.】
犯罪社会学／社会統計学



健康と病気、医療と公衆
衛生が専攻領域です。

黒田 浩一郎 **M D**
【修士(文学)】
病と医療の社会学／食と
食事の社会学／社会理論



研究分野は精神分析、
社会学、環境思想です。

村澤 真保呂 **M D**
【修士(人間・環境学)】
社会思想史／精神分析



中世のフランス文学を
専門にしています。

嶋崎 陽一 **M D**
【修士(文学)】
フランス中世文学／
アーサー王文学



龍谷大学は戦前アジアのメディア
史関連の史料を多く所蔵して
います。是非、ご利用ください。

李 相哲 **M D**
【博士(新聞学)】
ジャーナリズム史／
東アジアの新聞研究



都市で発達した伝統的な
祭りを研究しています。

吉田 竜司 **M**
【修士(文学)】
集合行動論



ドイツ語圏の音楽文化に
ついて研究しています。

高岡 智子 **M D**
【博士(学術)】
音楽学／ドイツ文化史



地域の環境問題を、
一緒に研究しましょう。

脇田 健一 **M D**
【修士(社会学)】
環境社会学／地域社会学



研究テーマ：中国はいかに
豊かになったのか？

李 复屏 **M**
【博士(経済学)】
地域発展学



移住や宗教をテーマに
調査を行っています。

椿原 敦子 **M D**
【博士(人間科学)】
文化人類学



大規模計量データを用いて
教育の機会と結果の格差
を研究中

松岡 亮二 **M**
【Ph.D. in Education】
教育社会学／教育格差・不平等
(Inequality in education)



現在のテーマは農業と
ジェンダー、家事労働

渡辺 めぐみ **M**
【博士(社会科学)】
ジェンダー・スタディーズ／
家族社会学



環境問題、地域活性化
の研究をしています。

間 美芳 **M**
【博士(人間科学)】
有機農業／獣害問題／
農村都市化



他学部教員・特別任用教員・外部講師

鵜塚 健 政治報道研究／調査報道・記事制作実習

島村 健司 アカデミック・ライティング

中野 有 国際問題報道研究

藤田 悟 政治コミュニケーション研究／アジア報道研究

在学生からのメッセージ



張 奕(チョウ・エキ)さん

修士課程 2 年次生 社会学専攻・社会学コース

私は大学時代、国際交流協会の会員として2年間、在留留学生のサポーターを務めました。この経験を通じて、日本に在住する外国人移住者の日本社会への適応状況や、外国人支援施設の支援状況に深い興味を抱くようになりました。そのため、大学卒業後、外国人移住者に関する研究を志すことを目標に、龍谷大学大学院社会学研究科への進学を決意しました。

大学院社会学研究科でのこの1年間は、非常に充実した日々を過ごしています。大学院では、修士論文作成の基礎となる日本語文献研究や日本語ライティングの授業が設置されており、日本語力に不安を抱いている方でも安心して学べる環境が整っています。また、龍谷大学は大学院生向けの奨学金が充実しているだけでなく、研究活動を支援するための補助金も申請できます。今年度は社会学部学会から研究支援金をいただき、夏休みに中国で研究調査を行うことができました。この支援のおかげで、研究への意欲がさらに高まりました。

さらに、指導ゼミの雰囲気は非常に良く、単なる研究指導だけでなく、就職活動や学生生活についても多方面のサポートを指導教員から受けることができます。週ごとのゼミでは一歩ずつ着実に学びを深めることができ、先生方の温かいサポートが日々のモチベーションにつながっています。大学院社会学研究科は、社会学に関する研究を深めるには最適な環境であり、ここで得られる経験はかけがえのないものです。

修了生からのメッセージ



宣 秉中(セン・ビンチュウ)さん

修士課程 社会学専攻・社会学コース

大学では美術学を専攻し、美術作品における女性像の表現や商品化について研究しました。作品に込められた社会的背景や文化的影響を考察する中で、社会学の視点が重要であることに気づき、大学院では社会学研究科に進学しました。現在の研究テーマは、「犯罪報道における女性の被害者像と加害者像の変容の要因分析」です。

私の研究では、中国の主要新聞『人民日報』を対象に、犯罪報道における女性像の変遷を分析しています。特に、女性が被害者や加害者としてどのように描かれ、それが時代や社会的背景によってどのように変化してきたのかを明らかにすることを目指しています。研究には、社会構築主義やラベリング理論を用いて、報道内容の分析とその背景にある政治的、文化的、経済的要因を探究しています。このテーマを通して、メディアが女性像の形成に与える影響や、ジェンダー視点での社会的課題に深くアプローチできることにやりがいを感じます。

社会学は、物事の「当たり前」を疑い、新しい視点を見つける学問です。社会の中で起こっている現象に対する問いを持つことで、日常の中に潜む問題や可能性を発見できます。これから大学院進学を考えている方には、自分が興味を持つテーマに対して積極的に疑問を投げかけ、その答えを探究していく姿勢が大切だと思います。

修士論文題目例

- 中国都市部における「専業母」の育児不安の構造に関する一考察
- 東日本大震災における地方紙の役割 ～『河北新報』の社会面記事を『読売新聞』と比較分析する～

主な学会発表・研究発表

日本文化人類学会 第57回研究大会

〈発表日〉2023年6月3日

江戸時代前期の遊郭における性のあり方に関する考察

『色道大鏡』を手がかりとして

社会福祉学専攻



社会福祉の高度専門職業人及び、研究者・教育者の育成を目的とし、人間力豊かな人材を養成します。

専任教員紹介

2025年度 専任教員の 専門分野・主な研究テーマ

「M」は修士課程科目担当者、「D」は博士後期課程科目の担当者です

言語形式の意味と
機能について考察する。

五十嵐 海理 **M D**
【MLitt in Linguistics】
英語学



児童福祉のケアの専門
性を研究しています。

土田 美世子 **M D**
【博士(人間福祉)】
児童福祉論／
保育ソーシャルワーク



地域福祉のあり方を
研究しましょう。

筒井 のり子 **M**
【修士(社会学)】
地域福祉論／市民活動論



精神的な悩みを抱える
方の支援を研究中

栗田 修司 **M D**
【修士(文学)】
ソーシャルワーク／
メンタルヘルス



高齢者福祉の研究を
しています。

春名 苗 **M D**
【博士(社会福祉学)】
高齢者福祉論



主な研究テーマは知的障害
のある人のQuality of lifeです。

立田 瑞穂 **M**
【博士(教育学)】
障害福祉／
特別支援教育



人権保障確立の観点から
社会保障を研究しています。

田中 明彦 **M D**
【修士(法学)】
社会保障法／社会保障論



障害者福祉の研究を
しています。

樽井 康彦 **M**
【博士(学術)】
障害者福祉論



国際的視野を
持ちましょう！

前川 貴史 **M**
【PhD in Linguistics】
理論言語学／英語学



他学部教員・特別任用教員・外部講師

長崎 陽子 仏教社会福祉論研究
中根 真 社会福祉原論研究

在学生からのメッセージ



張 白璐(チョウ・ハクリク)さん

博士後期課程3年次生 社会福祉学専攻

現在、仏教社会福祉の視点から、中国のソーシャルワークにおける終末期ケアについて研究を進めています。

龍谷大学社会学研究科修士課程では中国におけるソーシャルワーカーの教育問題について研究を行いました。修士課程在籍中に実施した半構造化インタビューを通じて、中国の高齢者が抱える「死」への恐怖や不安、そしてそれに深く関わる終末期ケアの問題を強く認識しました。この経験を踏まえ、博士課程では中国のソーシャルワークにおける高齢者終末期ケアの促進に焦点を当てた研究しております。

終末期ケアには、身体的・社会的・精神的側面のみならず、スピリチュアルな側面を含む全人的ケアが求められます。特にスピリチュアルの役割は極めて重要であると考えています。また、スピリチュアルは宗教と深く関連しております。中国において、仏教が最も広く信仰されている宗教であることから、仏教の死生観を中心に仏教社会福祉の視点から研究をしています。

龍谷大学は、世界中の大学と連携しており、国際的な研究会や学会に参加する機会が豊富です。そのため、世界の最新情報を把握し、幅広い視点を身につけることができます。また、学内では多様なゼミや活動に参加することができ、研究生活が非常に充実しています。学校は奨学金や学会発表援助金、研究助成金など、経済的なサポートも提供しており、学生が安心して学問に打ち込める環境を構築しています。

修了生からのメッセージ



片岡 豊裕さん

修士課程 社会福祉学専攻

大学院では、児童福祉について学んでいました。私の場合、60歳で定年退職を迎え再任用になった年に大学院に入学しました。現役時代は今も市役所で仕事をし、主に福祉・教育に関わる部署での仕事が長く、こどもは国と親を選んで生まれてくることができないということに言いようのないもどかしさを感じていました。そして、現役時代からもう一度本格的に学んでみたいとも思っていました。幸い再任用では週4日勤務ということで、少し余裕もあり、永年の夢を実現することができました。大学院では社会人であるということから、長期履修学生制度や専攻横断履修制度を活用し、3年間の学びや社会福祉学だけではなく社会学コースやジャーナリズムコースの科目を学ぶことができるという喜びを得ることができました。そして授業を通して得られる先生方や若い学生との語らひは、私自身40数年前の学生時代に戻ったようで何にも増して貴重な経験でした。この年齢で大学院で学ぶということに迷いがなかったわけではありません。でも今は本当に来て良かったと思っています。そして今、3年間の学びの集大成となる修士論文執筆の真っ最中です。この龍谷大学大学院での学びをこれからの残りの人生を歩んでいく上での大きな糧とできるよう残り僅かな期間ではありますが、更に深めていきたいと思っています。

修士論文題目例

- 家庭相談員の役割に関する研究
- 高齢者の介護予防が生活面に与える影響 ～ストックウォーキング教室の実践を通して～

主な学会発表・研究発表

人間仏教青年学術検討会(中国江蘇省開催)

〈発表日〉2024年4月12日

仏光山におけるタイ仏教社会福祉の実践と発展

日本社会福祉学会第72回秋季大会(2024年度)

〈発表日〉2024年10月26日

介護保障における介護保険法と老人福祉法の問題点と課題

高齢者介護保障を受ける権利の実現のために

日本社会福祉学会第72回秋季大会(2024年度)

〈発表日〉2024年10月26日

雇用におけるジェンダー平等の現状と課題

社会保障とのつながりから

日本教育情報学会第40回年

〈発表日〉2024年8月25日

社会福祉教育を通じた職業理解

一管理栄養士養成教育課程の学生調査を通して一

日本子ども家庭福祉学会第25回全国大会

〈発表日〉2024年6月30日

保育所における障害児保育政策の変遷

一保育の対象者・保育方法を視点として一

龍谷大学のブランドストーリー

世界は驚くべきスピードでその姿を変え、
将来の予測が難しい時代となっています。
いま必要なことは、「学び」を深めること。
「つながり」に目覚めること。
龍谷大学は「まごころある市民」を育てていきます。

自らを見つめ直し、他者への思いやりを発動する。
自分だけでなく他の誰かの安らぎのために行動する。
それが、私たちが大切にしている
「自省利他」であり、「まごころ」です。
その心があれば、激しい変化の中でも本質を見極め、
変革への一歩を踏み出すことができるはず。

探究心が沸き上がる喜びを原動力に、
より良い社会を構築するために。
新しい価値を創造するために。

私たちは、大学を「心」と「知」と「行動」の拠点として、
地球規模で広がる課題に立ち向かいます。
1639年の創立以来、貫いてきた進取の精神、
そして日々積み上げる学びをもとに、様々な人と手を携えながら、
誠実に地域や社会の発展に力を尽くしていきます。

豊かな多様性の中で、心と心がつながる。人と人が支え合う。
その先に、社会の新しい可能性が生まれていく。
龍谷大学が動く。未来が輝く。

You, Unlimited

龍谷大学大学院 社会学研究科

新たな知と価値を創造するために、
「心・知・行動」の拠点として、地域や世界の課題に対峙し、
問い続ける。それが、龍谷大学の研究のあり方です。

これまでの社会のありようや私たちの行動を省み、
先端的な研究や学際的連携による知の集約のもと、
世界の人々と協力して困難な課題に立ち向かう。
その姿勢と行動が、未来の可能性を切り拓いていきます。

深草キャンパス 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-585-7672 shakai@ad.ryukoku.ac.jp



社会学研究科の HP はコチラから

<https://www.soc.ryukoku.ac.jp/daigakuin>

■ 入試について

「2026 年度 入学試験要項」をご確認ください。
また、入試結果については入試情報サイトに掲載しております。
<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

■ 学費・諸会費について

2026 年度学費・諸会費については、「2026 年度入学試験要項」をご参照ください。

社会学研究科では年に数回、入試説明会を開催しております。
詳しい日程については社会学部教務課へお問い合わせください。

※掲載の学年、所属は取材時のものです。

2025 年 5 月 発行

